

## 松平城跡

松平郷に入る道を見下ろす、現在は森林に覆われた丘の上に、中世の小さな要塞跡がある。この山城は、松平家が村の領地を敵に奪われた際に、退却するためのものだった。松平城の名で知られているが、この要塞は、海拔 300 メートル、村から 70 メートルほどの高さの丘の上に、いくつかの曲輪を中心に構成されていたと考えられている。丘は 1400 年代に整地され、要塞化されたと考えられている。丘の頂上付近は平らにされ、柵で囲まれ、見張りが配置されていたとも考えられる。道路を見下ろす見張り台もこの時に作られた可能性があり、要塞を一周していたと思われる空堀は後に追加されたものと思われる。

比較的簡素ではあるが、最後の砦としての可能性を秘めていたと考えられている。井戸があり、眼下の村を見下ろすことができ、平時には手入れをしなくておくことができた。しかし、実際に戦で使われたかどうかは不明。国指定史跡松平氏遺跡の一部であるこの山城跡は、自然に埋め立てられており、曲輪の跡を見つけるには玄人の目が必要である。

頂上までは舗装されていない道があり、数分で登ることができる。